

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 156 2020.6.25

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会

波佐文化協会

能海寛研究会

ほたる湯館G・ゴルフ場

25周年記念『活動記録』発刊

能海寛研究会は、平成7年1月22日に結成して、今年で満25周年を迎えました。2か月に一回開催する定例学習会も151回の開催を行いました。25年間に移動学習会は、東京2回、京都、紀伊田辺市、大分市、松江市などで開催しました。年次大会は、毎年7月に開催しています。機関誌『石峰』は、25号迄発刊しました。出版事業は、能海寛著『世界に於ける仏教徒』の復刻版出版、『能海寛著作集』全15巻17冊、別巻1冊を出版、活動記録写真は、120枚のカラー写真を掲載して、25年間の活動を振り返りました。

本来ならば、7月12日に25周年記念式典と記念シンポジウムを開催の計画でしたが、新型コロナウイルスの感染防止の為、記念事業を中止して、会員始め関係者、県内の公立図書館などに『活動記録』(A4判 30Pカラー版)を配布することといたしました。

記念式典を中止したため、感謝状の贈呈は直接関係者へ伝達することとし、そのデータを活動記録の中に掲載しました。関係者は、次の4名の皆様です。

◇横田禎昭氏=能海寛研究会初代会長として『能海寛著作集』の取組など研究の基礎づくりに尽力。

◇天頂山浄蓮寺様=能海寛研究の為に『能海寛著作集』の刊行にご理解ある資料公開に尽力。

◇USS出版様=『能海寛著創集』全15巻17冊・別巻1冊の出版に尽力。

◇波佐文化協会=昭和49年より能海寛の先行研究並びに平成6年11月より全国区での研究会設立に尽力。

7月1日付で、「25周年記念『論集』」A4判 294Pの論文集を発行して、一連の25周年記念事業とします。



企画展『考古資料に学ぶ金城の歴史』開催中！

会場 浜田市金城歴史民俗資料館

会期 令和2年6月6日(土)～12月27日(日)

開館日 土・日曜日(月～金曜日に希望のお方は事前にご予約下さい。)

予約先 ☎ 09-4697-2818

「千年比丘1号墳」及び同古墳出土品が令和2年3月19日付で浜田市指定文化財(考古資料)となりました。石見地方で最古の古墳で、周辺遺跡の出土品から畿内との繋がりや鉄の原料である黒曜石の流通から古代流通ネットワークが出来上がっていたことが伺われます。古代から黒金(たたら鉄)を巡る攻防の歴史も併せてごらんください。